

事業番号	09 04 04	事業改善シート（令和5年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	野菜振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課			
		実施期間	S41 ~	E-mail	enchiku @ pref.nagano.lg.jp			

## 1 現状と課題

- ・近年の天候不順による作柄不良、野菜価格の変動等により、生産者の経営が不安定となってきた。葉野菜を中心とした主要な野菜について、国の需給見通しなど需要に応じた計画的な生産出荷の推進と、価格下落時の出荷調整や価格差補てん金などセーフティネットを備えることにより、生産者の経営安定と消費者への安定供給を図る必要がある。
- ・伝統野菜は、次世代への種の継承と需要の拡大を一体的に行い産地形成の取組を支援することで、中山間地域の活性化と農地保全を図る必要がある。

## 2 事業目的

- ・野菜生産者の経営安定と産地の維持、及び消費者への安定供給を図るため、着実に資金造成を図る。
- ・信州の伝統野菜の産地形成による中山間地域の活性化を図る。

## 3 事業目的を達成するための取組

### ①野菜生産者の経営安定化を図るための資金造成

- ・指定野菜（9品目）の市場価格下落時に価格差補てん金を交付するため、必要な資金を造成
- ・地域振興品目のセーフティネットとして指定産地化への誘導を図るため、価格安定対策事業実務研修会を実施

### ②契約取引に取組む生産者の経営安定を図るための資金造成

指定野菜（9品目）の契約取引において、作柄変動、価格下落により生産者が負うリスクを軽減するため、価格差補てん金交付に必要な資金を造成

### ③信州の伝統野菜の産地形成による中山間地域の活性化

- ・種子の安定確保及び無形資産の継承のために採種指導会を開催
- ・小学校における伝統野菜の栽培体験支援による認知度向上

## 4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
① ②	野菜の指定産地数	産地	44	44	→	44	→	44	達成	生産者の経営安定と消費者へ野菜の安定供給を図るため、国が指定している野菜の指定産地数を設定。	
③	信州の伝統野菜取扱施設数	施設	204	202	↘	279	↗	210	達成	伝統野菜における地域の認知度向上を図るため、信州の伝統野菜取扱施設数を設定。 (直近の調査実績を基に設定)	

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	★農業農村総生産額	億円	2021 (R3)	3,539	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,992 (県推計)	2027 (R9)	3,700

## 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	396,043	△ 3,800	392,243	366,369	391,408	1.95
R4年度	0	380,497	0	380,497	354,800	379,786	1.95
R3年度	0	434,585	0	434,585	408,179	433,563	1.95

事業番号	09 04 04	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	野菜振興事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

## 7 主な取組実績と成果

### ①野菜生産者の経営安定化を図るための資金造成

・主要野菜の価格安定のため国、長野県、登録出荷団体等により、資金造成率100%を達成し、市場価格下落時のセーフティネットを確実に構築することができた。

### ②契約取引に取組む生産者の経営安定を図るための資金造成

・野菜の契約取引において、作柄変動、価格低落により生産者が負うリスクを軽減するため、国、長野県、登録生産者により資金造成率100%を達成し、市場価格下落時のセーフティネットを確実に構築することができた。

### ③信州の伝統野菜の産地形成による中山間地域の活性化

・3地域で採種指導会を開催したことにより、採種技術の向上と種子の安定確保が図られた。  
・小学校9校に対して伝統野菜の栽培体験支援を行ったことにより、地域を担う子どもたちの認知度が向上した。



採種指導会の様子

## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①②	野菜の指定産地数	R4年度推移	→	R5年度推移	→	達成状況	達成
・市場価格下落時のセーフティネットを構築することで、農家の経営安定を図った結果、44産地を維持することができた。							
指標③	信州の伝統野菜取扱施設数	R4年度推移	↘	R5年度推移	↗	達成状況	達成
・生産団体や、伝統野菜を振興する市町村の取組、県による小学校における伝統野菜の栽培体験支援による認知度向上等により、取り扱い施設が増加し目標を達成した。							

## 9 今後の事業の方向性

### (1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・近年の天候不順による作柄不安定の影響から、野菜の価格変動がより予測しにくいものとなっている。  
・伝統野菜については、品種によっては種子の安定確保が難しくなりつつある。

### (2) 事業改善の方策

・国による価格安定制度は野菜生産出荷安定法に基づく生産者の経営安定対策の根幹であり、市場価格の下落時の価格差補てん金の交付に必要な資金造成を今後も現行通り継続する。  
・伝統野菜について、栽培グループの採種技術の向上や採種体制について技術的指導を行い、優良種子の安定確保による産地の維持を図る。

事業名	<b>野菜振興事業</b>	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	---------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	<b>指定野菜価格安定資金造成円滑化事業</b>	377,528 千円	322,257 千円	335,296 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	指定野菜価格安定資金造成円滑化事業（国制度）	補助金	指定野菜（9品目）の市場価格下落時に価格差補てん金を交付するため、必要な資金造成に対し補助 資金造成額 335,296千円	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	<b>契約指定野菜安定供給資金造成円滑化事業</b>	8,589 千円	6,551 千円	9,276 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	契約指定野菜安定供給資金造成円滑化事業（国制度）	補助金	指定野菜（9品目）の契約取引において、作柄変動、価格下落により生産者が負うリスクを軽減する補てん金を交付するために必要な資金造成に対し補助 資金造成額 9,276千円	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	<b>野菜生産安定資金造成事業</b>	44,900 千円	44,900 千円	44,900 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	野菜生産安定資金造成事業	補助金	国制度によらない県産野菜品目、出荷期間、出荷市場での価格下落時に価格差補てん金を交付するため、必要な資金造成に対し補助 資金造成額 44,900千円	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	<b>重要野菜出荷調整資金造成事業</b>	1,450 千円	1,450 千円	1,450 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	重要野菜出荷調整資金造成事業	補助金	県産野菜（はくさい、レタス、セルリー）の価格下落時における価格維持を図るため、出荷調整に対する経費を助成する資金造成に対し補助 資金造成額 1,450千円	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	信州伝統野菜継承・産地育成事業		1,096 千円	311 千円	486 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	種子の安定的保存及び無形資産の継承	直接	県内各地に残る伝統野菜の保存及び継承のため、信州伝統野菜認定委員会、現地調査及び採種指導会を開催 委員会の開催 3回、現地調査の開催 3回、採種指導会の開催 3回		
2	生産組織の育成	直接	生産者組織の育成を図るため、産地情報交換会の開催及び生産組織の課題解決のための相談、支援ができる専門アドバイザー派遣を実施 派遣地域 1地域		
3	需要の拡大	直接	信州の伝統野菜の需要拡大を図るため、企業等との連携による伝統野菜のPRを実施 リーフレット作成 7,000部 イベント実施 1回		
4	食文化の継承	直接	信州の伝統野菜の地域内での認知度向上及び次世代に継承する人材の確保に繋げるため、小学校における伝統野菜を活用した食育事業での取組を支援 実施校 9校		